

神戸市人口，震災前人口を超える
平成 16 年 11 月 1 日現在推計人口

1. 概 況

人 口 1,520,581 人
世帯数 645,075 世帯

神戸市の推計人口は，平成 16 年 11 月 1 日現在で，1,520,581 人となりました。これによつて市の人口は，震災直前にあたる平成 7 年 1 月 1 日現在の推計人口 1,520,365 人を 9 年 10 か月ぶりに 216 人超え，過去最高となりました。

区別に見ると，人口が最も多いのは西区で 242,422 人，次いで北区の 225,644 人となっています。最も人口が少ないのは長田区の 104,077 人です。震災の被害が大きかった区で震災前人口を超えているのは東灘区，灘区，中央区の 3 区です。（表 1）

推計人口：直近の国勢調査結果を基礎に，毎月の住民基本台帳および外国人登録台帳の届出数を加減して算出したものです。

表 1 震災からの人口の状況

(単位：人)

年 月 区 別	平成7年1月1日 推計人口 (震災直前) (a)	平成7年10月1日 7年国勢調査 (b)	震災直前 (a) との比較		平成16年11月1日 推計人口 (c)	震災直前 (a) との比較	
			増減 (b - a)	比率 (b / a)		増減 (c - a)	比率 (c / a)
全 市	1,520,365	1,423,792	96,573	93.6%	1,520,581	216	100.0%
東 灘 区	191,716	157,599	34,117	82.2%	203,550	11,834	106.2%
灘 区	124,538	97,473	27,065	78.3%	127,039	2,501	102.0%
中 央 区	111,195	103,711	7,484	93.3%	114,736	3,541	103.2%
兵 庫 区	117,558	98,856	18,702	84.1%	107,414	10,144	91.4%
北 区	217,166	230,473	13,307	106.1%	225,644	8,478	103.9%
長 田 区	129,978	96,807	33,171	74.5%	104,077	25,901	80.1%
須 磨 区	188,949	176,507	12,442	93.4%	172,115	16,834	91.1%
本 区	78,908	63,255	15,653	80.2%	71,666	7,242	90.8%
北須磨	110,041	113,252	3,211	102.9%	100,449	9,592	91.3%
垂 水 区	237,735	240,203	2,468	101.0%	223,584	14,151	94.0%
西 区	201,530	222,163	20,633	110.2%	242,422	40,892	120.3%

2. 最近の人口推移

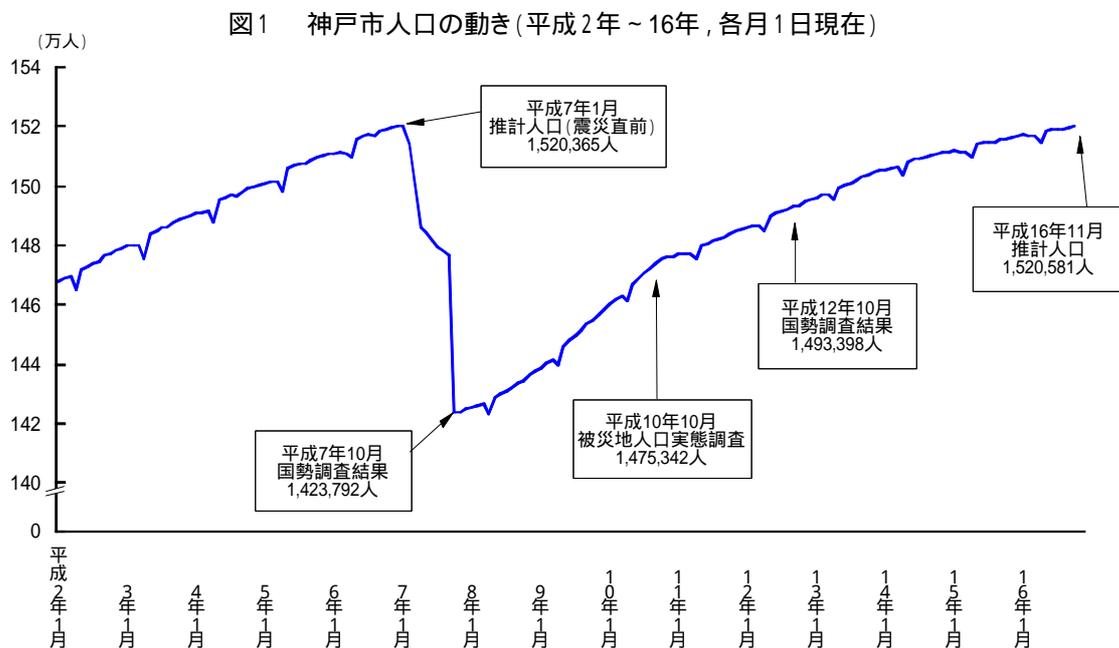
(1) 全市の状況 - 増加基調にあるが、人口増は鈍化の傾向 -

震災前、神戸市の人口は年間約1万人のペースで増加していました。平成4年12月1日現在の推計人口で150万人を超えた後も人口増加は続き、震災直前の平成7年1月1日現在の推計人口は過去最高の1,520,365人となりました。

平成7年1月17日に発生した阪神淡路大震災は神戸市の人口にも大きな影響を及ぼしました。同年10月1日に実施された震災後はじめての国勢調査では1,423,792人となって、震災直前の推計人口を10万人近くも下回る大幅な減少が明らかになりました。

しかしその後、民間住宅や東部新都心などの災害復興住宅の供給、経済の復興が進むにつれて神戸市人口は回復基調になりました。被災地の人口状況を把握するために平成10年10月1日に行われた被災地人口実態調査の結果、人口は1,475,342人にまで回復していることが確認されました。平成12年10月1日に実施された平成12年国勢調査で1,493,398人となった後も順調に回復が進み、平成13年6月1日の推計人口では再び150万人を超えました。

平成14年以降、人口増加のペースは鈍化の傾向を示していますが、依然として増加基調にあり、平成16年11月1日現在の推計人口で震災直前の推計人口を超えたことが明らかとなりました。(図1, 表2)



注) 平成2年10月, 7年10月, 12年10月: 国勢調査

平成10年10月: 被災地人口実態調査

それ以外は推計人口(平成7年11月～平成12年9月は、被災人口実態調査結果を基に修正を行った数値である。

また、平成2年11月～7年9月は遡及改訂していない数値である。)

(2) 区別の状況 - 東灘区、灘区、中央区は順調に増加 -

人口の様子を区別にみると、震災前、東灘区は緩やかな増加傾向、灘区、中央区は減少傾向にありました。震災でいずれの区も大きく減少した後、それぞれ回復傾向を示し、東灘区は平成12年11月に震災直前人口を超え、中央区、灘区もそれぞれ平成14年6月、9月に震災直前人口を超えました。その後も引き続き増加基調にあり、神戸市人口の増加を牽引しています。

- 兵庫区は概ね増加傾向、長田区は減少幅縮小、須磨区は減少が続く -

兵庫区、長田区、須磨区の3区をみると、震災前、兵庫区、長田区は減少傾向にあり、須磨区は横ばいでしたが、震災でそれぞれ大きく減少しました。震災後、兵庫区では自然減にかかわらず社会増が続き、今年は減少となっているものの概ね増加傾向にあります。

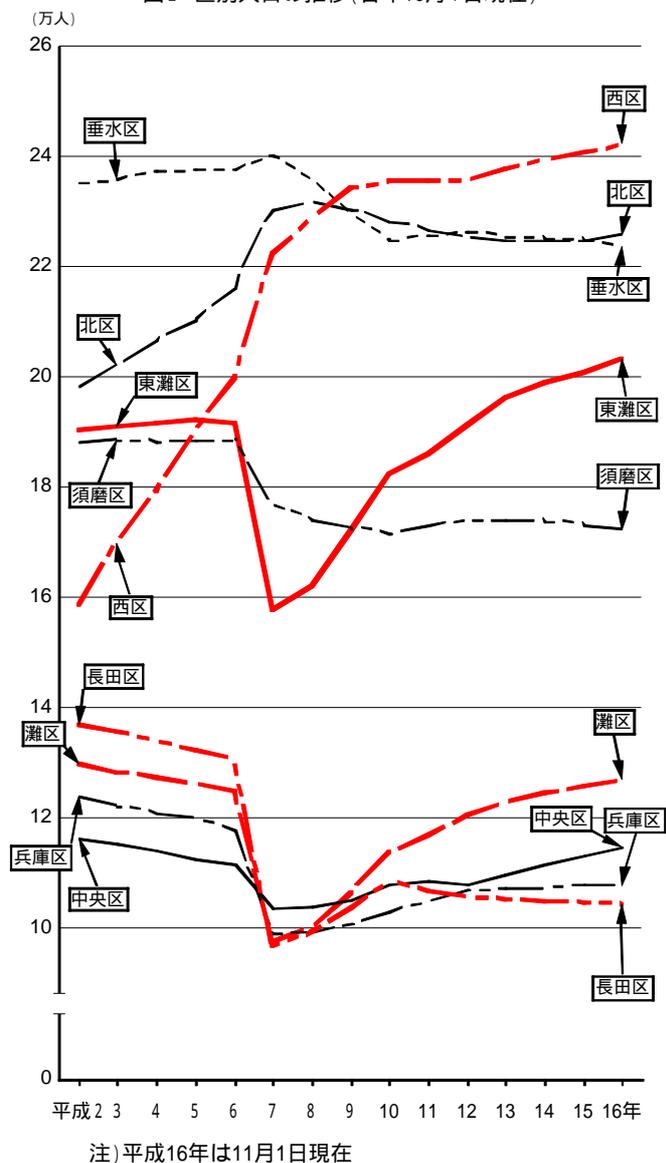
長田区は平成13年には39年ぶりに社会増となるなど最近では社会増の傾向が見られるものの、自然減が大きく、減少傾向が続いていますが、減少幅は震災前より縮小しています。須磨区では、本区で緩やかな回復傾向にあるものの、北須磨の人口減のために全体では減少が続いています。

- 垂水区は概ね減少傾向、北区は僅かな増加傾向、西区は増加ペース鈍化 -

郊外に位置する垂水区、北区、西区をみると、垂水区は震災前、緩やかに増加していましたが、平成5年ごろから減少傾向が現れ、震災後顕著となりました。最近では減少幅に差があるものの概ね減少傾向が続いています。

北区、西区は震災前ニュータウンの開発が進み、大幅な人口増加を示していました。震災後、北区では社会減に転じ、平成11年～13年は人口減となりましたが、最近では僅かながら増加傾向にあります。西区は、増加幅が大きく縮小しましたが、社会増が続いており、ペースは鈍化したものの依然として増加基調にあります。(図2、表2)

図2 区別人口の推移(各年10月1日現在)



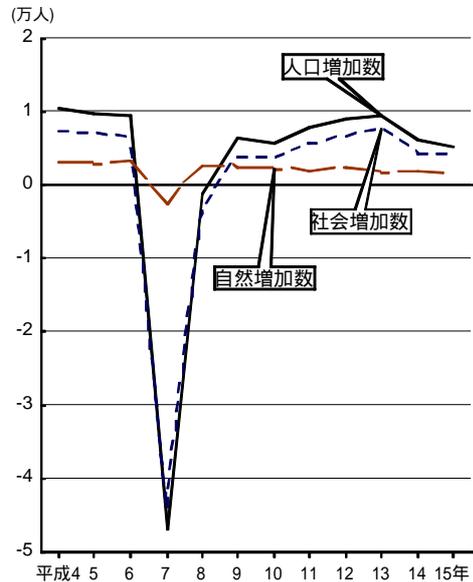
3. 人口増加の内訳

- 自然増加数は震災前の半分以下に縮小，社会増加数も平成13年をピークに鈍化傾向 -

震災前は年間約1万人の増加のうち，約7,000人が社会増，残り3,000人余りが自然増となっていました。震災により，神戸市民は4,571人が死亡し，その結果，平成7年は近年でははじめて自然減(2,488人減)となりました。震災後，自然増加数は回復を見せていますが，死亡数の増加傾向と出生数の減少傾向をうけて，増加幅は年々小さくなっており，昨年は1,272人と震災前の半分以下となっています。

一方，社会増加数は震災でマイナスとなった後回復傾向を示し，増加幅は漸次拡大して平成13年には震災前並みの7,748人になりました。しかし，昨年は4,055人増にとどまり，今年に入ってから伸びが鈍化しています。(図3，表2)

図3 人口動態の推移



$$\text{人口増加数} = \text{自然増加数} + \text{社会増加数} \quad \text{自然増加数} = \text{出生数} - \text{死亡数} \quad \text{社会増加数} = \text{転入数} - \text{転出数}$$

表2 区別人口の動き(平成2年～16年)

年次	全市	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	北区	長田区	須磨区	須磨本区	北須磨	垂水区	西区
人口増加数												
震災前平均(平2～6年)	10,446	692	1,246	1,283	1,411	4,447	1,752	99	720	819	664	10,235
7年	46,841	17,330	12,078	6,029	9,121	7,174	14,361	6,730	7,181	451	135	11,499
8年	1,115	521	732	1,781	1,337	2,539	4,052	1,890	975	915	2,594	8,211
9年	6,357	5,826	1,819	304	275	377	2,884	1,641	251	1,390	3,477	6,916
10年	5,756	4,076	2,731	826	305	23	2,395	1,352	682	670	1,371	3,523
11年	7,751	2,990	1,576	1,989	241	96	677	1,610	222	1,832	154	3,184
12年	8,921	4,780	2,417	1,590	861	678	480	1,030	47	1,077	1,590	3,051
13年	9,562	4,638	1,987	1,743	413	240	217	54	849	903	581	1,873
14年	6,179	2,263	1,551	1,658	116	11	97	654	304	958	449	1,780
15年	5,327	2,147	1,067	1,917	222	434	561	901	41	942	175	1,177
16年(1～10月)	3,447	2,158	1,037	1,213	383	286	294	743	73	670	1,197	1,370
自然増加数												
震災前平均(平2～6年)	3,372	705	71	93	474	719	393	611	61	672	1,368	999
7年	2,488	972	1,087	534	1,058	619	1,335	8	546	538	960	927
8年	2,692	452	14	260	472	736	271	420	58	478	953	1,120
9年	2,500	458	25	231	307	656	310	327	42	369	857	1,075
10年	2,277	748	37	321	312	516	274	277	37	314	696	910
11年	1,991	771	56	312	372	405	225	266	29	237	495	907
12年	2,314	836	141	156	355	418	237	148	52	200	626	893
13年	1,814	823	139	281	208	195	294	270	55	215	348	822
14年	1,859	1,005	125	215	277	148	279	141	11	130	382	829
15年	1,272	824	34	203	314	203	480	132	1	133	364	712
16年(1～10月)	913	561	159	106	286	173	378	29	72	43	252	567
社会増加数												
震災前平均(平2～6年)	7,074	13	1,176	1,190	937	3,728	1,359	512	659	147	704	9,236
7年	44,353	16,358	10,991	5,495	8,063	6,555	13,026	6,722	6,635	87	825	10,572
8年	3,807	69	746	1,521	865	1,803	3,781	2,310	917	1,393	3,547	7,091
9年	3,857	5,368	1,844	73	32	279	2,574	1,968	209	1,759	4,334	5,841
10年	3,479	3,328	2,694	1,147	7	493	2,121	1,629	645	984	2,067	2,613
11年	5,760	2,219	1,520	2,301	613	501	452	1,876	193	2,069	341	2,277
12年	6,607	3,944	2,276	1,746	1,216	1,096	243	1,178	99	1,277	2,216	2,158
13年	7,748	3,815	1,848	2,024	621	435	77	324	794	1,118	929	1,051
14年	4,320	1,258	1,426	1,873	393	137	182	795	293	1,088	831	951
15年	4,055	1,323	1,033	2,120	536	231	81	1,033	42	1,075	539	465
16年(1～10月)	2,534	1,597	878	1,319	97	113	84	714	1	713	1,449	803

注) ここで述べている人口の動きは，すべて住民基本台帳法及び外国人登録法の規定に基づく出生・死亡・転入・転出の届出を集計したものである。
注) 社会増加数については，須磨区の須磨本区と北須磨との間の移動数を含む数値により算出している。

4. 人口移動の状況

- 最近は人口の“都心回帰”の動き -

神戸市の周辺地域のうち東播臨海部との間の転入・転出の状況をみると、震災前、神戸市は東播臨海部に対して転出超過の傾向にあり神戸市から東播臨海部への人口流出が続いていました。震災直後は多くの市民が市外に避難したため、転出超過が拡大しましたが、平成11年からは逆に東播臨海部から神戸市への人口の流入が見られ、現在まで続いています。

また、神戸市内を市街地と郊外に2分し、両地域間の転入・転出の状況をみると、震災前は市街地から郊外への人口流出が続いていました。東播臨海部との関係と同様、震災により郊外への大幅な人口流出が見られましたが、その後平成11年を境にこれまでなかった郊外から市街地への人口の流入が見られます。

このように、最近では神戸市周辺からは神戸市内へ、神戸市内においては郊外から市街地へと、神戸市においても全国的に見られる人口の“都心回帰”の動きが見られます。(図4-1, 2, 表3)

東播臨海部：明石市，加古川市，高砂市，稲美町，播磨町
 市街地：東灘区，灘区，中央区，兵庫区，長田区，須磨本区
 郊外：北須磨，垂水区，北区，西区

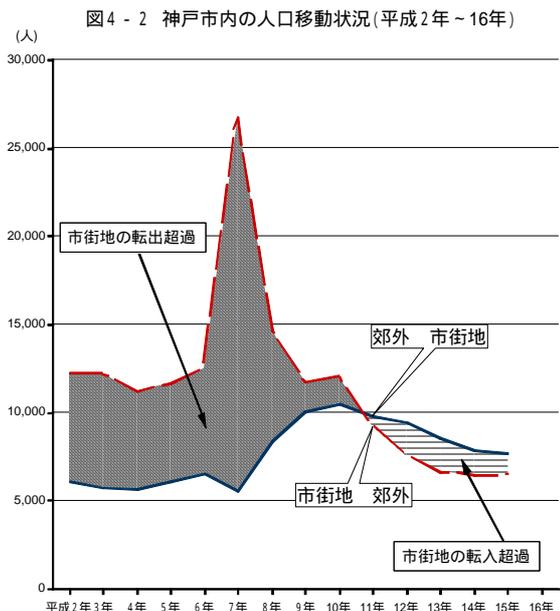
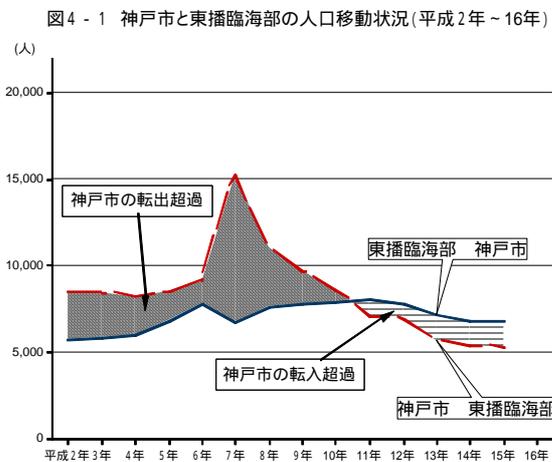


表3 神戸市と東播臨海部及び神戸市内の人口移動状況(平成2年～16年)

人口移動	平成2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年
東播臨海部 神戸市	5,760	5,881	6,005	6,836	7,818	6,727	7,664	7,812	7,887	8,034	7,784	7,144	6,830	6,768	4,997
神戸市 東播臨海部	8,511	8,425	8,187	8,515	9,156	15,244	11,063	9,704	8,576	7,111	6,929	5,650	5,383	5,275	4,259
神戸市の転入超過	2,751	2,544	2,182	1,679	1,338	8,517	3,399	1,892	689	923	855	1,494	1,447	1,493	738
郊外 市街地	6,063	5,767	5,614	6,095	6,532	5,515	8,392	10,030	10,524	9,792	9,433	8,571	7,864	7,649	5,942
市街地 郊外	12,229	12,159	11,227	11,672	12,513	26,773	14,667	11,727	12,005	9,163	7,497	6,672	6,440	6,525	5,025
市街地の転入超過	6,166	6,392	5,613	5,577	5,981	21,258	6,275	1,697	1,481	629	1,936	1,899	1,424	1,124	917

注) 住民基本台帳法及び外国人登録法の規定に基づく転入，転出の届出数を集計したものである
 注) 平成16年は，10月までの数値である

5. 神戸市民の構成

- 震災後に神戸市民となった人は全体の 27% -

平成 16 年 11 月 1 日現在の神戸市民が、震災前にどこに居住していたかについて、住民基本台帳と外国人登録のデータに基づき集計すると、移動なしが 48%と半数を切る一方、市外からの転入と出生により新たに市民となった人は合わせて 27%と 4 分の 1 を超えています。

区別にみると、東灘区、灘区、中央区で市外から転入してきた人の占める割合が高くなっています。特に東灘区は、出生と合わせると 38%と 4 割近くに及んでいます。(図 5)

図 5 区別の震災直前の居住地別構成比(平成16年11月1日現在)

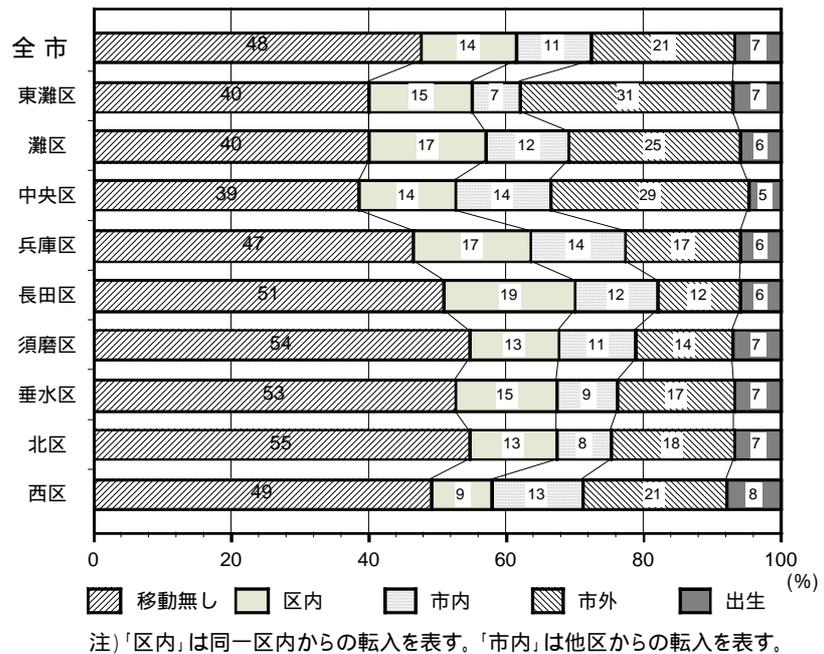


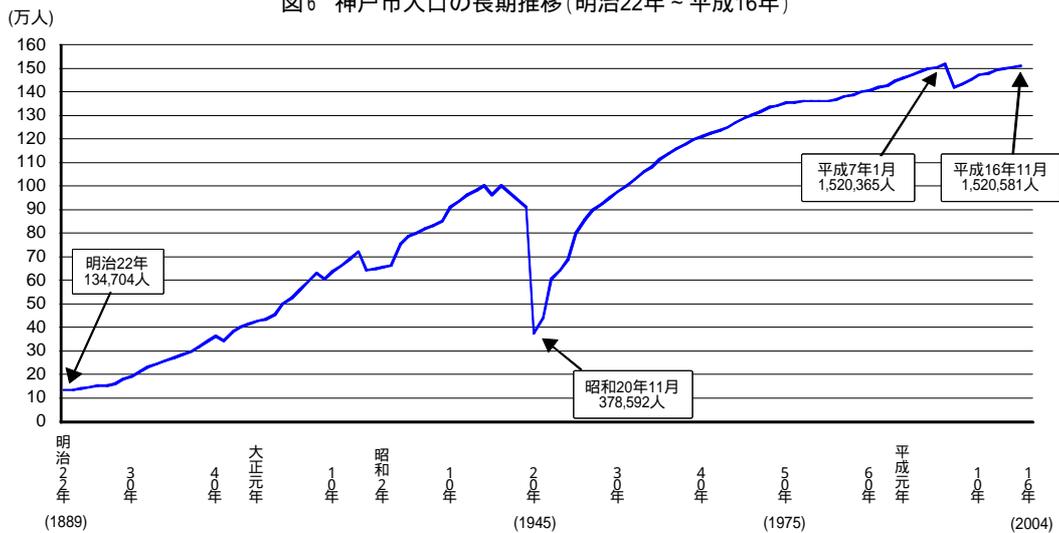
表 4 区別の世帯数，男女別人口，人口密度等(平成 16 年 11 月 1 日現在)

区	面積 (km ²)	世帯数 (世帯)	人口(人)			人口の増減(人)		人口密度 1km ² 当たり (人)	女 100に 対する男
			総数	男	女	対前月	対前年同月		
全市	551.40	645,075	1,520,581	722,975	797,606	703	3,961	2,758	90.6
東灘区	30.36	88,463	203,550	96,773	106,777	368	2,409	6,705	90.6
灘区	31.40	61,118	127,039	59,902	67,137	56	1,163	4,046	89.2
中央区	27.05	61,951	114,736	53,844	60,892	102	1,432	4,242	88.4
兵庫区	14.54	53,793	107,414	51,462	55,952	83	517	7,387	92.0
北区	241.84	82,940	225,644	107,495	118,149	115	674	933	91.0
長田区	11.46	47,895	104,077	48,973	55,104	36	341	9,082	88.9
須磨区	30.00	70,343	172,115	80,224	91,891	25	984	5,737	87.3
本区	12.55	31,668	71,666	32,764	38,902	10	111	5,710	84.2
北須磨	17.45	38,675	100,449	47,460	52,989	35	873	5,756	89.6
垂水区	26.89	92,235	223,584	106,041	117,543	6	1,382	8,315	90.2
西区	137.86	86,337	242,422	118,261	124,161	162	1,507	1,758	95.2

(参考1) 神戸市人口の長期推移

明治22年に神戸市が誕生した当時の人口は約13万5千人でしたが、市の発展や市域の拡大とともに人口は順調に増加します。大正期には50万人を超え、昭和14年には100万人に到達しました。戦争による影響を受けて一時は約38万人にまで減少しましたが、戦後の復興と近隣町村の合併が進むにつれて人口は急速に回復し、昭和31年には再び100万人を超えました。昭和50年代に人口が伸び悩んだ時期もありましたが、増加傾向が続き、平成4年には150万人を超え、震災直前には約152万人に達しました。平成7年の震災は10万人近くもの人口減少をもたらしましたが、その後増加基調に戻り、平成13年には再び150万人を超え、平成16年11月に震災直前の人口を超えました。(図6, 表6)

図6 神戸市人口の長期推移(明治22年～平成16年)



(参考2) 政令指定都市の人口比較

最近の人口で比較すると、13ある政令指定都市のなかで神戸市の人口は5番目です。最も多いのは横浜市で約356万人、もっとも少ないのは千葉市で約92万人です。神戸市人口は、震災前の平成2年国勢調査では5番目でしたが、震災後はじめての平成7年国勢調査では京都市に次ぐ6番目になりました。平成10年4月に再び5番目となり、以後神戸市の順番に変動はありません。(図7, 表5)

図7 政令指定都市の人口(平成16年10月1日現在)

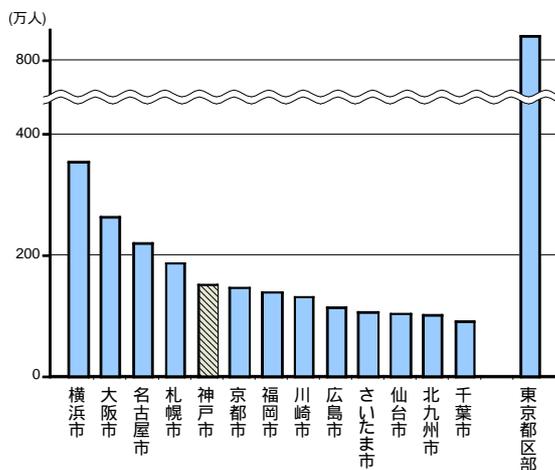


表5 政令指定都市の人口(平成16年10月1日現在)

都市名	人口
1 横浜市	3,555,473
2 大阪市	2,633,757
3 名古屋市	2,202,111
4 札幌市	1,868,289
5 神戸市	1,519,878
6 京都市	1,464,238
7 福岡市	1,391,146
8 川崎市	1,306,021
9 広島市	1,144,433
10 さいたま市	1,067,327
11 仙台市	1,025,714
12 北九州市	1,000,136
13 千葉市	918,364
(参考) 東京都区部	8,390,967

注) 図7, 表5の大阪市は16年9月1日現在の数値。

表6 神戸市人口の長期推移(明治22年～平成16年)

年 月	世 帯 数 (世帯)	人 口 (人)			女 100 に 対 ず る 男	1 世 帯 当 た り 人 員 (人)	摘 要
		総 数	男	女			
明治22年	34,268	134,704	70,609	64,095	110.2	3.93	公簿人口(12月31日)
32年	61,779	236,159	124,352	111,807	111.2	3.82	"
42年	99,904	387,915	208,950	178,965	116.8	3.88	"
大正9年	138,970	608,644	323,946	284,698	113.8	4.38	国勢調査(10月1日)
14年	151,505	644,212	335,762	308,450	108.9	4.25	国勢調査(")
昭和5年	178,325	787,616	406,348	381,268	106.6	4.42	国勢調査(")
10年	196,018	912,179	467,945	444,234	105.3	4.65	国勢調査(")
15年	216,076	967,234	491,553	475,681	103.3	4.48	国勢調査(")
22年	149,347	607,079	307,772	299,307	102.8	4.06	臨時国勢調査(10月1日)
25年	192,977	804,501	400,225	404,276	99.0	4.17	国勢調査(")
30年	231,874	981,318	484,604	496,714	97.6	4.23	国勢調査(")
31年	237,483	1,000,343	494,107	506,236	97.6	4.21	推計人口(8月1日)100万人到達
35年	273,419	1,103,595	548,671	554,924	98.9	4.04	推計人口(5月1日)110万人到達
	279,599	1,113,977	550,321	563,656	97.6	3.98	国勢調査(10月1日)
39年	342,128	1,200,196	594,598	605,598	98.2	3.51	推計人口(12月1日)120万人到達
40年	331,388	1,216,666	601,846	614,820	97.9	3.67	国勢調査(10月1日)
45年	377,473	1,288,937	636,846	652,091	97.7	3.41	国勢調査(")
46年	385,998	1,300,529	642,125	658,404	97.5	3.37	推計人口(5月1日)130万人到達
50年	427,031	1,360,605	667,893	692,712	96.4	3.19	国勢調査(10月1日)
55年	462,281	1,367,390	665,029	702,361	94.7	2.96	国勢調査(")
59年	487,398	1,400,146	677,470	722,676	93.7	2.87	推計人口(9月1日)140万人到達
60年	487,849	1,410,834	681,810	729,024	93.5	2.89	国勢調査(10月1日)
平成2年	539,151	1,477,410	712,594	764,816	93.2	2.74	国勢調査(")
4年	560,567	1,500,289	722,440	777,849	92.9	2.68	推計人口(12月1日)150万人到達
7年	580,012	1,520,365	730,839	789,526	92.6	2.62	推計人口(1月1日)震災直前人口
	536,508	1,423,792	683,228	740,564	92.3	2.65	国勢調査(10月1日)
10年	563,811	1,475,342	711,173	764,169	93.1	2.62	被災地人口実態調査(10月1日)
12年	606,162	1,493,398	713,684	779,714	91.5	2.46	国勢調査(10月1日)
13年	615,025	1,500,292	716,154	784,138	91.3	2.44	推計人口(6月1日)150万人再到達
16年	645,075	1,520,581	722,975	797,606	90.6	2.36	推計人口(11月1日)震災前人口を超える

(参考3) 神戸市年表(平成7年～現在)

西暦(年号)	月	できごと	
1995(平成7年)	1月	震災直前人口(1月1日 1,520,365人)	
	1月	阪神・淡路大震災(1月17日5時46分)	
	2月	仮設住宅への入居開始	
	6月	神戸市復興計画策定	
	7月	神戸市震災復興住宅整備緊急3か年計画策定 市民福祉復興プラン策定	
	10月	平成7年国勢調査実施(10月1日 1,423,792人) 第4次神戸市基本計画策定 災害復興住宅一元募集開始	
	12月	神戸ルミナリエを初開催	
	1996(平成8年)	1月	キャナルタウン兵庫入居開始
		3月	区別計画と新・都市環境基準策定
		6月	神戸のすまい復興プラン策定 東部新都心(HAT神戸)着工記念式実施
1997(平成9年)	8月	震災復興土地区画整理事業の仮換地指定始まる	
	11月	「元気アップ神戸」市民運動推進協議会が発足	
1998(平成10年)	1月	神戸の生活再建支援プランを策定	
	5月	神戸開港130周年記念式典で「神戸復興宣言」を発表	
1999(平成11年)	10月	神戸経済本格復興プラン策定	
	1月	神戸市民の安全の推進に関する条例施行	
	3月	神戸キメックセンタービルオープン	
	4月	HAT神戸 入居開始 明石海峡大橋が開通	
	10月	被災地人口実態調査実施(10月1日 1,475,342人)	
2000(平成12年)	11月	市施行震災復興市街地再開発ビル最初の完成(新長田駅南地区)	
	7月	神戸港港島トンネル開通	
	9月	神戸空港着工	
2001(平成13年)	12月	仮設住宅入居世帯がゼロに	
	1月	神戸市復興・活性化推進懇話会から復興の総括・検証についての提言	
2002(平成14年)	10月	平成12年国勢調査実施(10月1日 1,493,398人) 復興計画推進プログラム策定	
	1月	神戸21世紀・復興記念事業開催(1月17日～9月30日)	
	2月	震災復興土地区画整理事業「鷹取東第1地区」が完成	
	6月	再び150万人都市となる(6月1日 1,500,292人)	
	7月	市営地下鉄海岸線が開通 震災復興土地区画整理事業「六甲道駅西地区」が完成	
	11月	矢田立郎市長就任	
	12月	神戸市情報公開条例施行	
2003(平成15年)	3月	新・神戸市環境基本計画を策定 「しみん しあわせ指標」作成	
	6月	2002FIFAワールドカップ™3試合を開催	
	2月	震災復興土地区画整理事業「森南第1・第2地区」が完成	
2004(平成16年)	4月	震災復興土地区画整理事業「御菅東地区」が完成 「先端医療産業特区」などが構造改革特区に認定	
	12月	行政経営方針発表	
	1月	神戸市復興・活性化推進懇話会から復興の総括・検証についての提言	
	2月	神戸観光アクションプラン策定	
	3月	震災復興再開発事業「六甲道駅南地区」の再開発ビルが全棟完成	
	4月	神戸市行政評価条例施行	
	10月	神戸市民の意見提出手続に関する条例施行 神戸市民による地域活動の推進に関する条例施行	
	11月	震災直前人口を超える(11月1日 1,520,581人)	

(担当: 山口 内線 2328)